



主催・東条町
主管・東条アートドキュメント'95実行委員会
協力・町制40周年記念事業推進委員会
後援・加東郡教育委員会
加東郡農業協同組合

事務局・〒673-13兵庫県加東郡東条町天神125
東条アートドキュメント'95実行委員会
(東条町役場) TEL 0795-47-1300 FAX 0795-47-1621

4人の彫刻家と造形作家による公開制作
Tojo Art document '95

会期・1995年7月23日(日)～9月2日(土)
会場・加東郡農協東条ライスセンター



招待作家



HARUO IGARASHI
五十嵐 晴夫



TOSHIMITSU ITO
伊東 敏光



HIDENORI OHI
大井 秀規



YOSHIHARU MAEKAWA
前川 義春



TATSUO EBISAWA
鰐澤 達夫

制作助手

HIDEAKI KOBAYASHI
小林 秀昭





町制40周年を記念して開催しました“東条アートドキュメント'95”は、住民の皆様により企画・運営された画期的なイベントとして、大きな成果をおさめることができました。

4人の彫刻家と造形作家を招き、彫刻作品の制作とランドスケープを記念事業として取り組むことが方向付けられたとき、果たして、この地味な“静”なる石・金属が、どのように変貌し、記念事業として、地域の中で、どのようにして馴染んでいくのか、少し戸惑いもありました。

しかし、それは、みごとに覆されたのであります。実行委員会を支えた“東条遊ネット”的若いアイディアとチームワークが住民の皆様の心を魅了させたからであります。さらに、その熱意が広く住民の共感を集め、作家の先生方にも以心伝心、“作家と地域住民”のみごとな一体化が、ここに“静”なる素材から“躍動”的な作品へと変身、大きな感動を与えてくれたのであります。東条アートドキュメント'95のテーマであります『街づくり・人づくり・夢づくり』が、まさしく生かされたものであり、“東条遊ネット”を中心とした若い力が、新しい時代に向かって飛翔する東条町にとって、かけがえのない存在であることを明らかに示したものと言えるのではないでしょうか。

作品は、町内4ヶ所に設置し、街の一風景として、大切に、そして永く親しまれていくことを願うものであります。

最後に、長期にわたって会場を提供していただいたJA加東郡、また、会場周辺や地域の皆様方、さらに、関係者各位に敬意と感謝を表し、ご挨拶いたします。

東条町長 高尾 定雄

Tojo Art document '95

オープニング

平成7年7月23日(日) 午前9時から

プログラム

保育園児による太鼓と踊り

町長あいさつ

実行委員長あいさつ

来賓あいさつ

作家紹介

作家あいさつ

保育園児によるくすだま割り

矢入れ式

矢入れ式とは

紀元前、古代エジプト人は、ピラミッドを建造するため、何トンもある石を檻のクサビと水を使って長い時間をかけて割っていました。その後鉄器時代に入り、鉄のクサビを使いましと大きな石を早く割ることができますようになりました。

今回使用する重さ18トンのインド産黒御影石を、この古来から伝わる鉄のクサビによる方法で二つ割りにする瞬間を披露しました。何万年も空気にふれることのなかった石の内部が、ついに外界に現れる瞬間の緊張を皆様に伝えることができました。

参加していただいた保育園

秋津保育園 東条保育園 若草保育園
緑ヶ丘保育園 みやま保育園

約1年間企画を積み重ね、ようやくオープニングにこぎ着けることができました。司会進行は、(社)小野加東青年会議所のメンバーにお願いし、保育園児による東条町小唄の太鼓と踊りで40日間の幕を切りました。

サンテレビのスタッフによる収録もあり、後日20分のドキュメンタリー番組として放映されました。

炎天下での催しなので、作家支援の方々が冷たい麦茶のサービス。それぞれのパートのスタッフが一同に集まっての今日が初仕事。作家、スタッフ、そしてこの事業を開催するにあたって陰、日向になって応援していただいた各種団体の皆様、住民の皆様それぞれが少し緊張しながらも、前川さんの矢入れ式が無事終わる頃、さわやかな笑顔があちこちに見られました。

オープニング



矢入



矢入



オープニング 矢入れ式



アートYOIYOIまつり

7月29日（土）
参加人数 約3,000人

フリーマーケット・屋台
午後3時から40店舗

アマチュアバンド
プラネットariumコンサート
午後6時から

参加バンド
ガンドーベム ブラックガンズ
福の種 藤原正彦&ほか2名ズ エムズ
終了午後9時

なじみの少ない彫刻の公開制作に、少しでも多くの方々の目にふれていただきたいため、ライスセンターという広い会場を利用して祭りを開催してほしいと担当者にお願いしました。それも初めは事業費0円に限りなく近づけて、というとんでもないこともつけ加えて。

会議を重ねていく中で、今までにないお祭りをしよう。夏は浴衣を着て盆踊りもいいけれど、若い人たちも共に燃えることのできる内容として、町内外でがんばっているアマチュアバンドに出演していただこう、また東条町では初めてのフリーマーケットも開こうと、どんどん企画が煮詰まってきた。

オープニングも含め企画実行の中心に、東条町商工会青年部と（社）小野加東青年会議所が一つになり取り組んでいたのも、これからの中づくりを進めていく上で大きな成果といえるのではないでしょうか。

アマチュアバンドによる屋外ステージは音響（PA）のオペレーション（土肥さん）の素晴らしいを加え、予想以上に盛り上がり、今後も形を変えてバンド演奏会が続いていきそうです。



造形教室

子供造形教室
中央公民館主催の
ログキャンプの中のプログラム
8月7日（月）から8日（火）
参加者 26名

一般募集
8月10日（木）
対象 保育園児から中学生
参加者 32名

一般石彫教室
8月6日（日）から9月2日（土）まで
対象 大人
参加者 5名 1団体（商工会青年部）

子どもたちにとって楽しい夏休み。様々な団体が子供向けのプログラムを計画します。気がついてみると日程が重なる事が多く、取り合いの状況が多々見られます。

子ども造形教室を開くにあたって中央公民館と相談し、ログキャンプの中に組み入れてもらいました。素材は西脇の河原で収集し、石だけではなく、木片、ゴムまで使っての楽しい教室になりました。

一般募集の子ども造形教室では、親子で制作する風景も見られ、ボランティアのお手伝いの方に助けられながら、共により作品がたくさんできました。

大人を対象とした造形教室では、日程をフリーとして空いた時間に自由に制作していただきました。商工会青年部のメンバーが制作した石臼はエンディングに披露されました。



フォーラム

8月30日(水) 雨天のため順延
 9月2日(土) 雨天のため会場が使えず
 エンディング会場で合同開催
 名称「夏の夜の夢 8・30 in Tojo」
 街づくりフォーラム ほろ酔いシアター

計画プログラム
 オープニング
 参加者紹介
 フォーラム
 趣旨説明
 アートドキュメント経過報告(各担当者より)
 今後のまちづくりについて
 「夢工房'95」より提案
 ピアノ連弾 龜村美保 丸山弘美
 ソプラノ独唱 前川ひとみ
 空間造形講演 蝦澤達夫
 アートドキュメント愛唱歌「メモリーズ」発表
 全員合唱

フォーラム開催の意味

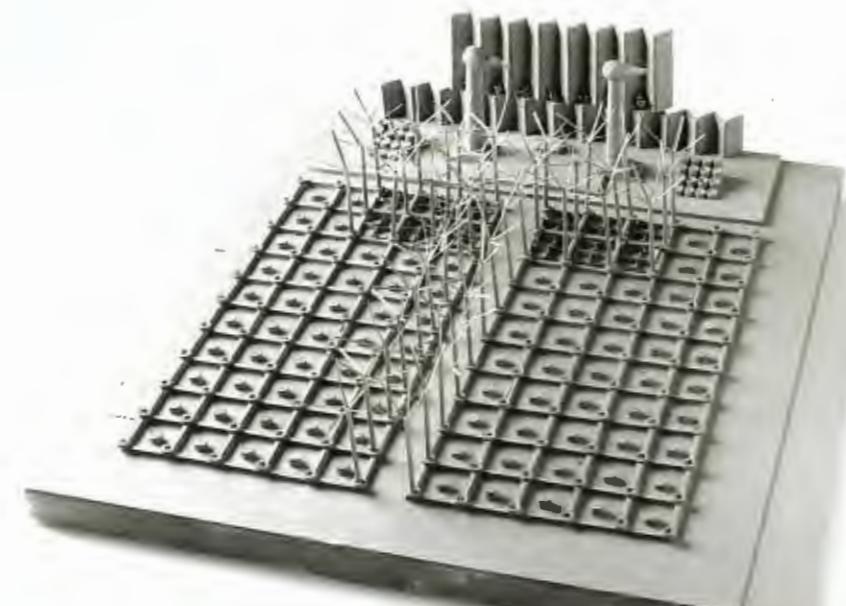
東条町で初めて開催された彫刻家と造形作家によるこの「公開制作」は、40日という期間を通してかかわるであろう多くの住民に、多くの面で影響を残してくれることを確信します。

それは、ある人にとっては、石の彫刻の実作業の楽しさかも知れません、また別な人にとっては、会場のイベントに参加したおもしろさであったり、彫刻家をお世話する中で得た会話の中身の楽しさであったりするかも知れません。

このフォーラムでは40日間を振り返って、「アートドキュメント'95の意義」と事業を通じて「私たち住民が何を感じたか?」を、ふり返りながら、「今後の東条町のまちづくりのあり方」の参考になればと、企画・開催するものです。

「夢工房'95」とは

アートドキュメント'95の意義と思いを引き継ぎ、私たち自身による素晴らしいまちづくりの願いを生かすため設けられた任意の組織です。当面2~3年を目標に「東条の将来の姿」を考えたり、楽しい企画をしたいと考えています。





今回のフォーラム手法の特殊性

東条町には、フォーラム会場となり得る立派な施設が数多くありますが、今回はあえて、屋外に鶴澤先生のデザインされた手作りの会場を設営し、開催しようと企画しました。

会場の製作から私たち住民のためのフォーラムが始まるのです。

製作途中のボランティアによる作業を見た人たちは。

完成前後の芸術性あふれた会場を見た人たちは。

このアートドキュメント'95が、東条町に残した新しい感覚のまちづくりとまちの活力を実感してくれるかもしれません。

1人でも多くの人たちに、この熱く燃えた40日間を感じ取っていただきたいと願っています。

感動を共有することによって

今回制作された彫刻は、町内の4ヶ所に設置されます。

多くの人たちにとって、それは一つの「作品」にすぎないかもしれません。

しかし、このアートドキュメント'95に、少しでもかかわり、ふれあいをもった人たちにとって、それは暑い夏と共に感じたいいくつかの思い出を、後世長く思い出させる「心の記念物」になってくれると思います。

見るだけでも、話すだけでも、ふれるだけでも一人一人には意義あることだと思います。

でも、もっと深くもっと長く素敵な思い出を感じてもらうために、多くの人々に「感動を共有すること」を味わってもらえたら……。

フォーラム会場で使用した材料、機材

古タイヤ 132本

ドラム缶 60本

木材 4 m × 250本

ベンキ 288枚

竹 40本

わら 100束

水草 40 m²

段ボール 200枚

ハッポウスチロール 400枚

モニュメント用(5 m) 鉄筋 2基

モニュメント用和紙 500枚

蛍光灯 48本

泥 6 m³

テーブルの上の飾り(下記各112)

造形メッシュ

コップ

ローソク

ピアノ

照明用ライト

音響設備

コンパネ、足場その他



制作風景

7月の中旬まで雨が残り、オープニングの前日まで気をもむ毎日でした。開催されると8月29日まで全く雨が降らず、(後半雨が降りましたが休日でした)ただひたすら太陽に照らされての制作が続きました。

五十嵐さんは息子さんと2人で参加。お父さんの制作を見て一生の宝になったのでした。

伊東さんは倉庫の中で溶接と切断。子どもたちに人気があり、また教え子の生徒さんも駆けつけ助手に早変わり。今回のメンバーでは一番マイペースで制作を続けられていきました。

大井さんは、作品点数と量が体型と同じで、最初から期日までに完成するか危ぶまれていましたが、助手の小林さんと一緒に(ほとんど小林さんが造ったという噂もありますが)あの柔らかなフォルムに磨き続けておられました。

前川さんは、たぶん全国でも初めてかもしないスタイルの矢入れ式を行い、緊張のままスタートされました。コーディネーターとして、作家と現地スタッフのわがままの仲介でも、少しも乱れず、ひたすら作品に穴をあける毎日。

鰐澤さんは、1人だけクーラーのきいた部屋で、黙々と模型を制作という筋書きも途中まで。ポスターにはコスミックホールで講演という予定になっていたのが、夢工房のスタッフと話し合う内に会場を屋外に造っちゃおうというとんでもない事が決定、後半はほとんど屋外で会場のパツ作りに精を出され、終わったときには誰もと同じ真っ黒の顔になっていました。

宿泊場所は、東条町の中心に位置する「とどろき荘」で、ジャグジーありサウナありの最新設備をほこるお風呂があり、つかった体をいやすのには最適だったと言われてました。



五十嵐 晴夫
Haruo Igarashi

1950 兵庫県生まれ
1973 京都市立芸術大学彫刻科卒業
1976・78 第5回・6回神戸須磨離宮現代彫刻展、京都国立近代美術館賞、東京都美術館賞
1979 第10回中原悌二郎賞優秀賞
1989・92・93 かさおか石彫シンボジウム オルガナイザー



伊東 敏光
Toshimitsu Ito

1959 千葉県生まれ
1987 東京芸術大学大学院修了
1986~94 個展: Gアートギャラリー(東京)
なびす画廊(東京)
淡路町画廊(東京)
ギャラリーなつか(東京)
横浜ガレリアベリーニの丘ギャラリー(神奈川)
秋山画廊(東京)
1992 (財)野村国際文化財団より、芸術研究活動助成金を受ける。



大井 秀規
Hidenori Ohi

1960 山口県生まれ
1987 金沢美術工芸大学大学院修了
1989 現代九州彫刻展 大賞
1992 かさおか石彫シンボジウム 招待参加
1992 個展 福岡市美術館(福岡)
1993 個展 番画廊(大阪)



前川 義春
Yoshiharu Maekawa

1955 福井県生まれ
1982 東京芸術大学
大学院修了
1985~91 ドイツ学術交
流会の奨学金を得
て渡独、ドイツ、
イタリア、オース
トリアなどの国際
彫刻シンポジウム
に参加。国立ミュ
ンヘン美術大学卒
業。
1983~個展：ギャラリー
山口（東京）
ギャラリーホフマ
ン（ドイツ）
茶屋町画廊（大阪）

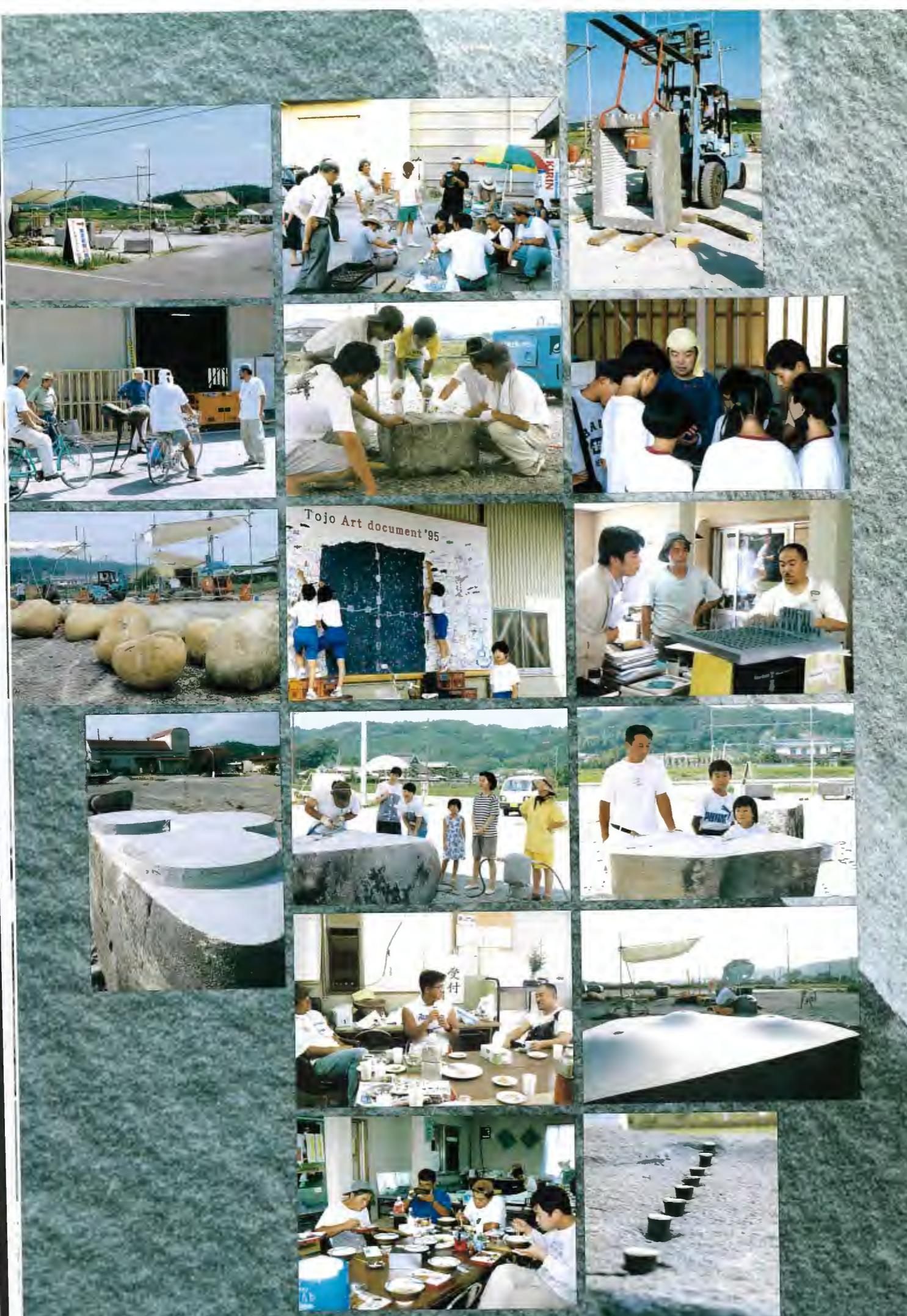


鰐澤 達夫
Tatsuo Ebisawa

1958 東京都生まれ
1982 イタリア国立美術
学校フィレンツェ
留学
1988 東京芸術大学
大学院修了
1979~92 個展：鎌倉画
廊（東京）
西武百貨店渋谷店
他16回
グループ展：青山
スパイラルガーデン
他多数
その他：本陣平野
屋 花兆庵の庭
ホテルニューオー
タニガーデンコート・カルティエハ
イジュエリーフェ
ア等の空間演出。



小林 秀昭
Hideaki Kobayashi
制作助手



設置風景・完成写真

五十嵐 晴夫氏

作品名 「蛇 筆」

場 所 東条町岡本781番地

東条中学校前の東条川にかかる中央橋を渡った先で、南山「インターパーク」に続く幹線沿いに位置する。

東条町を象徴する東条川に、かつて川の護岸に使われた蛇筆をイメージした作品。子どもたちが作品の周りでおしゃべりをする場所として利用してくれたら最高です。

伊東 敏光氏

作品名 「この彫刻は一万年の生命を持ち、人の一生の間に10メートルほど歩く NO.II」

場 所 東条町横谷401番地

作品の両側を県道と中国自動車道に挟まれ、上にはインターパークに入る横谷大橋が横たわる。

モータリゼーションの発達した空間の狭間に作品のコンセプトが妙にマッチする。

大井 秀規氏

作品名 「Gravitation」

場 所 東条町横谷375-64（ひょうご東条インターチェンジ前）

平成8年4月10日に開通するインターの料金所前に新しい町の顔になる作品として設置した。

また両側約200mの間にもデザインされた石と木が配置された。

前川 義春氏

作品名 「5つの積層と直径5400mmの円周上における弦」（彫刻作品）

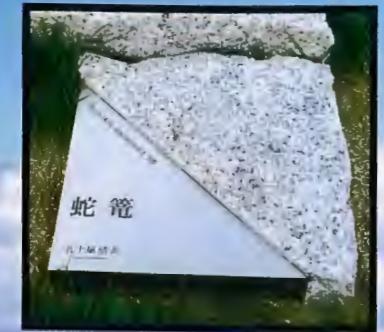
鰐澤 達夫氏

作品名 「La nave portaerei」（庭）

場 所 東条町岡本976番地

南山幹線沿いの南山「インターパーク」の入り口に位置し、田園風景の中に配置された作品と庭は、これからの環境空間を考え上で貴重な提案といえる。





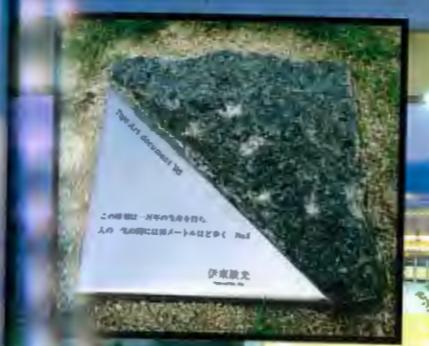
五十嵐 晴夫
「蛇籠」

山に囲まれ、緑のきれいな水田、中央に東条川が流れ自然に恵まれた東条町。この自然の中にいかなる彫刻が必要なのか。東条の環境は、ヨーロッパの田園風景でもなく、近くにある神戸の都会の風景でもありません。この東条の個性的な環境を考えず彫刻を造ると、そこかしこにある彫刻と同じになり“金太郎飴”的な環境になってしまふでしょう。

私はこの環境に接したとき、緑の美しい水田の中にはばんと置かれた、石の造形物をイメージしました。水田の中に彫刻を置くという事は、田植え、稲刈りなどに大変

じゃまになるのですが、何と個性的な風景になる事でしょう。農家の協力のもと、こういう事ができれば、ぜひ実現したいと思います。

今回、私の作品は東条川の畔に置かれるということで、川の流れ、治水のキーワードから選ぶ石垣、また最近はコンクリートブロックに変わりましたが、かつて使われていた蛇籠をイメージして、間知石を積み重ね蛇籠のような形に造ります。この石の積み方、蛇籠は日本独特のもので東条の風景に違和感なくじんぐくれると思います。



伊東 聰光
「人間の歩き方」

「人間は一千年の命を持ち、人の一生の間に10メートルほど歩く。NO.II」

エベレストの頂上付近で走る、マラソンなど世界中の大会で石が用いられることが多く、人間の動きや歩行の形などをどう表現するか各國が必殺技である。

しかし私たちは、他の選手の考え方も参考する中で、より人間化生活を実現、歩行者スピードアップを目指していくだろう。

せんぐす。走る選手中の「この感動は一瞬で止む不得。人が一生の間に10メートルほど歩く」が、人間よりもずっと長い距離で走り、歩き、日々の生活中でいつのまにか歩出障壁をもたらしてくれる。これが。





大井 秀規
[Gravitation]

「直立した人体、大地より発芽した生命体、構築された数々の遺跡に共通のエネルギーを感じる。そのエネルギーの空間を構成する上でもっとも基本的な要素である重力(Gavitation)に相対する力としてとらえた。それらの個々に内在する力を自己の中で再構築し、それを大地に根ざした立脚する彌留ムとして表現した。」

以上のコンセプトで制作を続けてきました。

今回、東条町での作品はその重力に相対して、重力を感じさせないことをねらった作品です。大地にどっかりと鎮座した大きな自然石が自分の重さを忘れてフワフワ生きている一時です。

東条町の玄関口となるインターに設置され、町の人や町を訪れる人々に親しんでいた庭園たちと思います。



前川 義春

「5つの積層と直径5400mmの円周上に沿る斜」

この作品は、割る、穴をあける、並べる(積む)、という3つの要素から成り立っています。できるだけシンプルな形で、街角の中で影刻を成立させたいと願ってます。

また作品が形態の上で、自然が持つ「否む」、表面の変化などを、受けつつ長い年月をかけて自然と共に育む。よが完成に向かう性質のものである。そして私の作品に対する行為は、自然と一緒に面白いところを探求し挑戦されるものであることをテーマに制作しているのです。

今回東条町の玄関口となる場所のランプウェイアートをおこないました。自転車道とランプスケーブル作成からのようく、ランプウェイアートででき、より豊かな緊張感ある空間を実現に追えることができるのか。

私にとって初めての試みであるこのプロジェクトの完成を楽しみにしていると共に、このプロジェクトを実現に導いていたいた東条の皆様に心から感謝しております。

鶴澤 達夫
[La nave portaerei]

空母という庭の名前には、いくつかの意味がある。

神戸から車で1時間弱、山あいに入るこの町は、牧原をもじながらウイークエンドのみ農業を営む人々がほとんどである。すみれも農業家庭である。

この町の子どもたちは、大学進学や社会人にみると、おそらくこの町を出て、大阪や神戸、東京などの大都市に住むことになる。その街へかけた自分の足跡であり、「この町を出てからまだ生きている」といふ。

空母といつては、昔から日本を飛ばしていく多くのアスリートが現れる。そして飛行機が飛んでくる。

船自身も大きな海をゆうぐく少し手進み、飛行機の彼らはまたその船にもどる。そんな心象風景を思い描けば、この庭に説いた思いを理解していただけるであろう。

彼らが子どもの頃この庭で遊んだ思い出が、再びここでよみがえればいいと思う。地形形状の便をデザインしたこの庭は、

多くがスカルバのブリオン家の墓と記憶の中でたぶる。

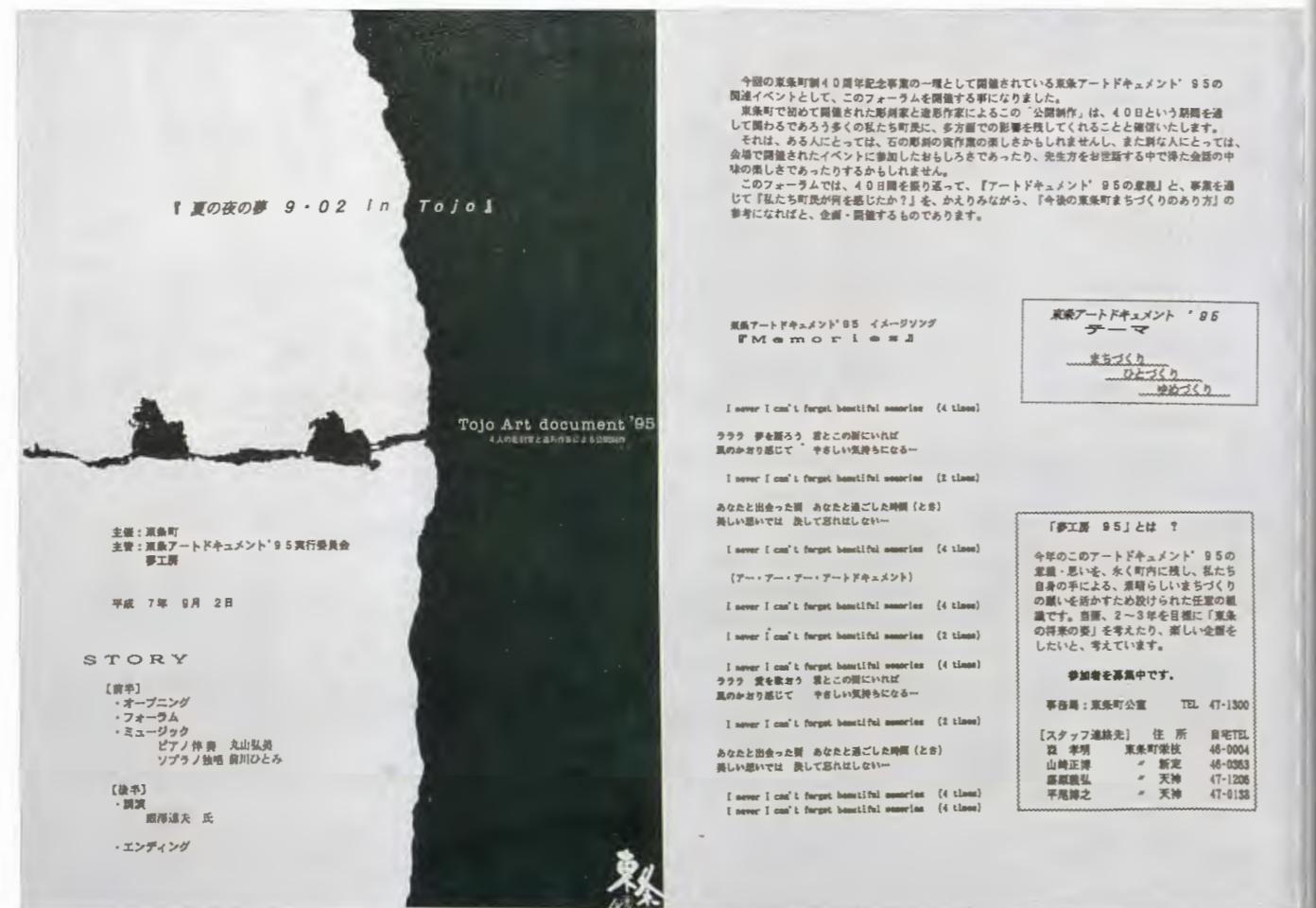
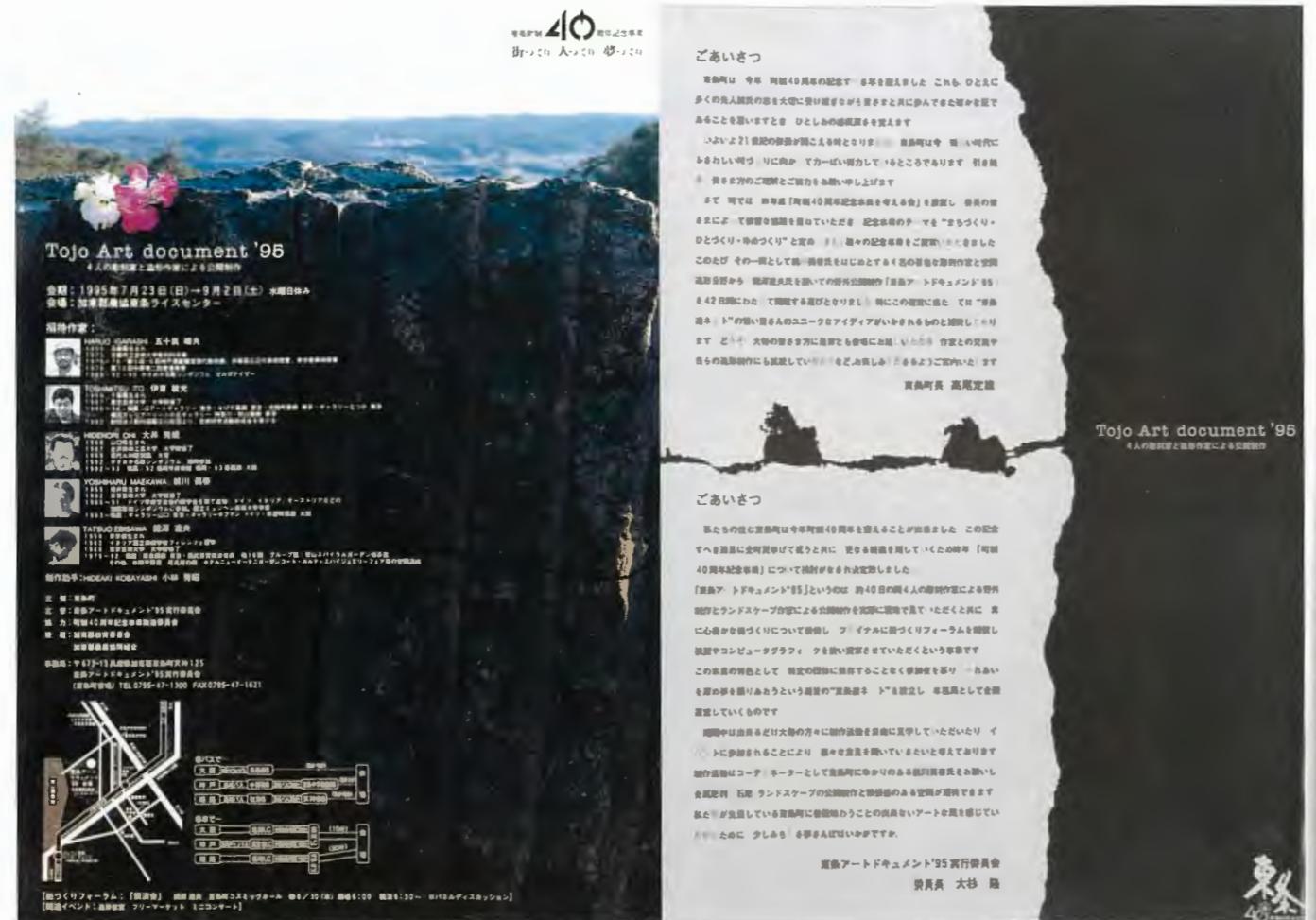
ダニー・カラバンでも、ピーター・オーカーでもない。またこの庭では、多くの想像力とイメージーションによってのみ、遊ぶことができると思う。一般的な遊具もない。前川義春氏の彫刻作品のみである。

無機的でコンクリートとグリッタ、鏡をし、本物のものである。ペッターハルムの『一音の音』の音楽家本の音による音波と、音波を自らの花下さいくなる。

この日に集め人々の手作りの屋外オペラ『グララフンジョン』、コンサート、やんを御用意を設けて頂った。

建築の中心部はかの門の前にあると言ったカルロ・スカルバの言葉を想起出す。





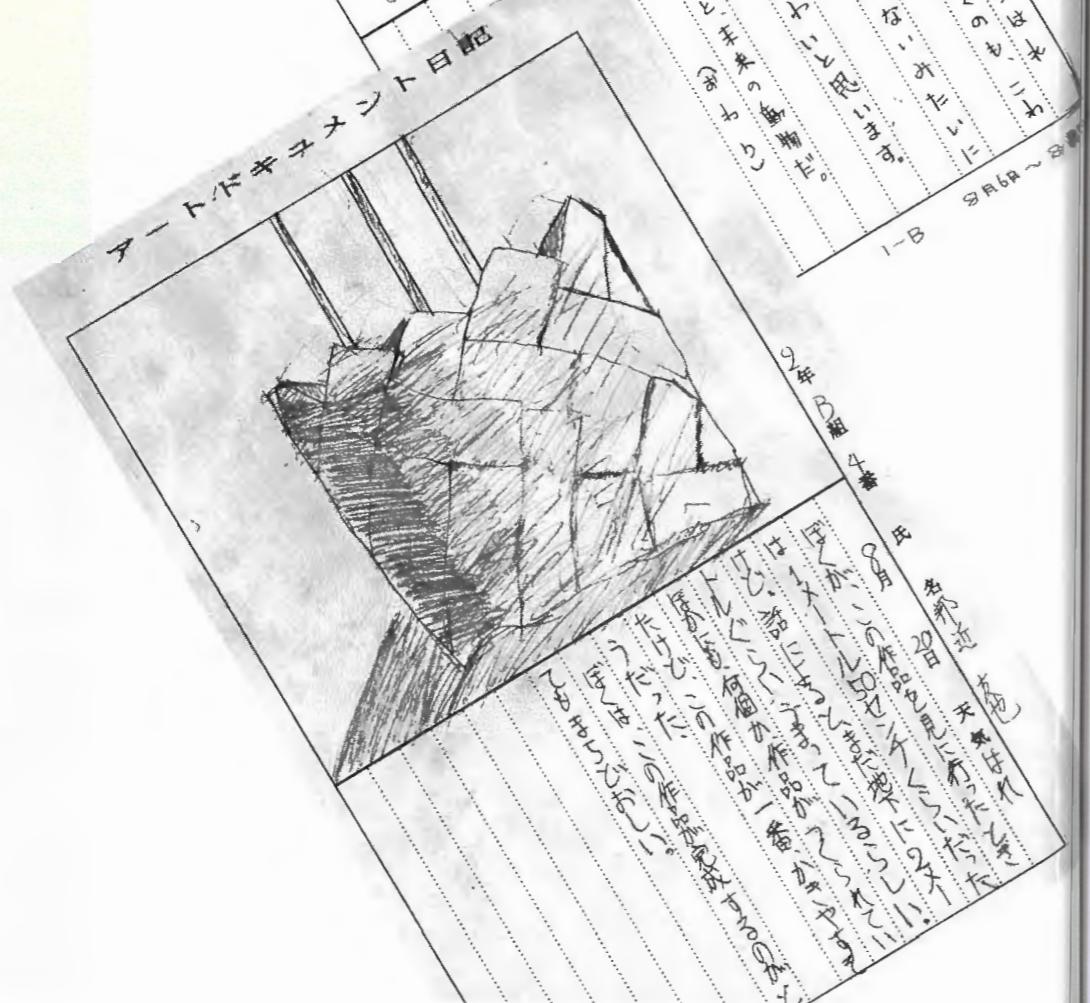
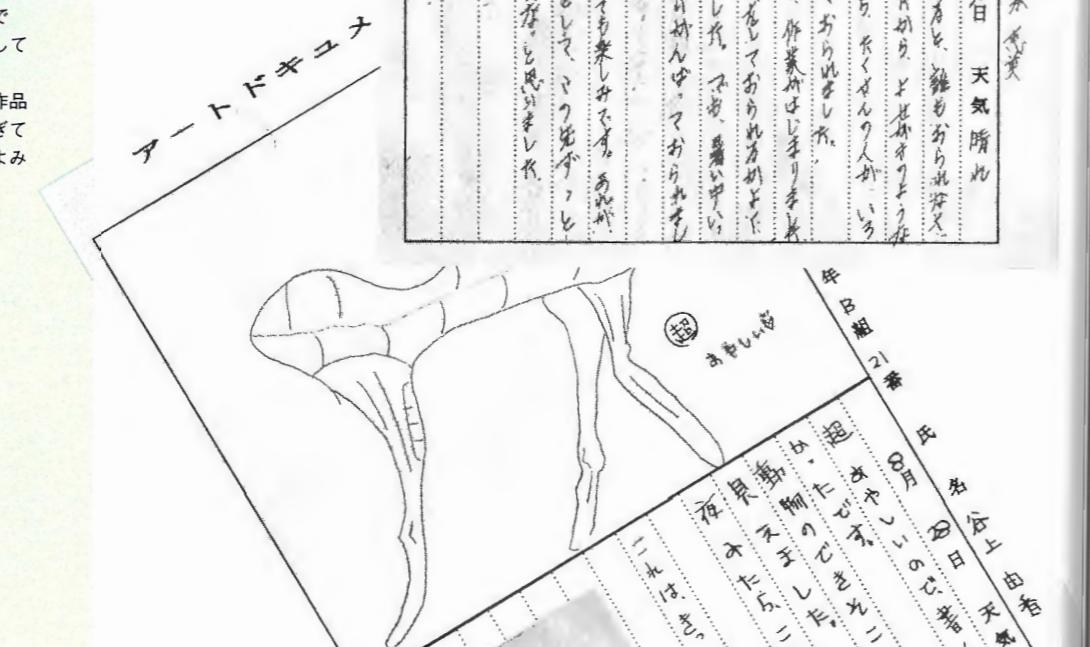


中学生の絵日記

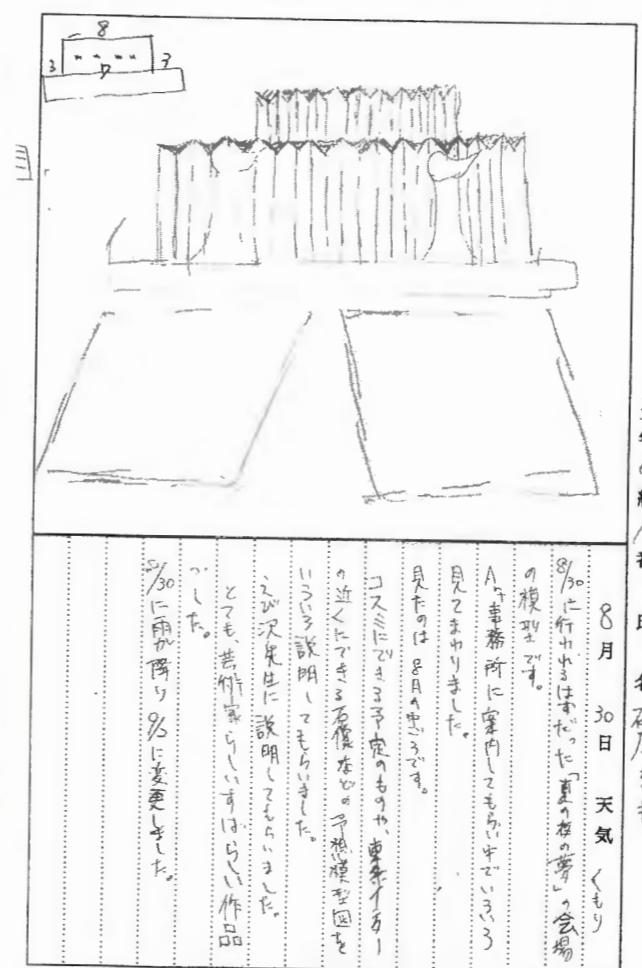
東条町では二つの小学校と一つの中学校があります。3校のPTA役員で構成されている連絡協議会に、今回の企画（公開制作）の趣旨をお話したところ快く承諾され、中学生の生徒に対して絵日記を夏休みの課題として提案していただきました。

すべてを掲載することができませんが、オープニングの日よりエンディングまで様々な角度から絵と文章によって表現していただきました。

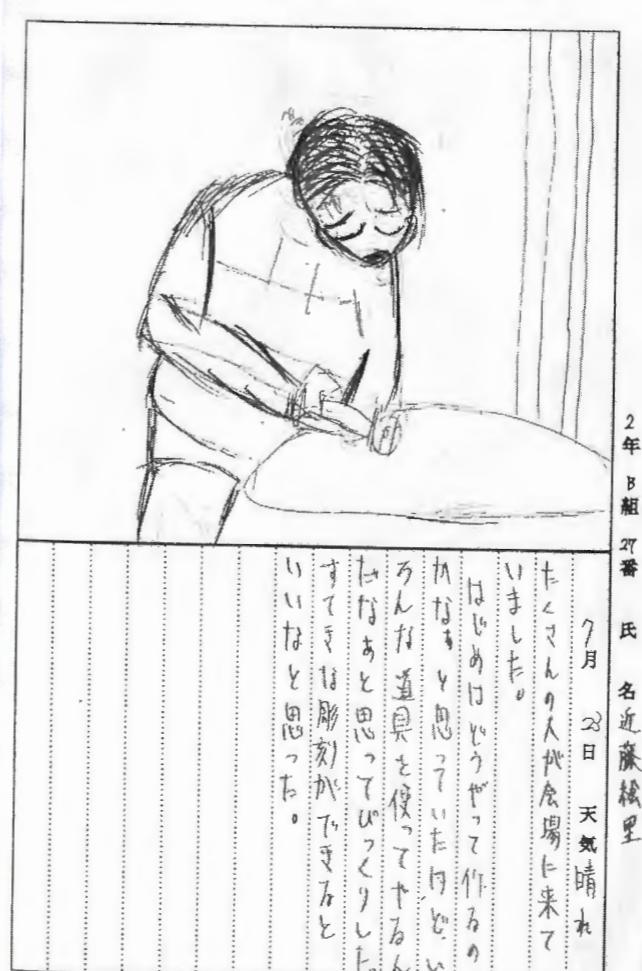
制作途中ではよく分からなくても、作品となって設置されたものに、年月を過ぎて対面したとき、当時の様子が記憶からよみがえってくることでしょう。



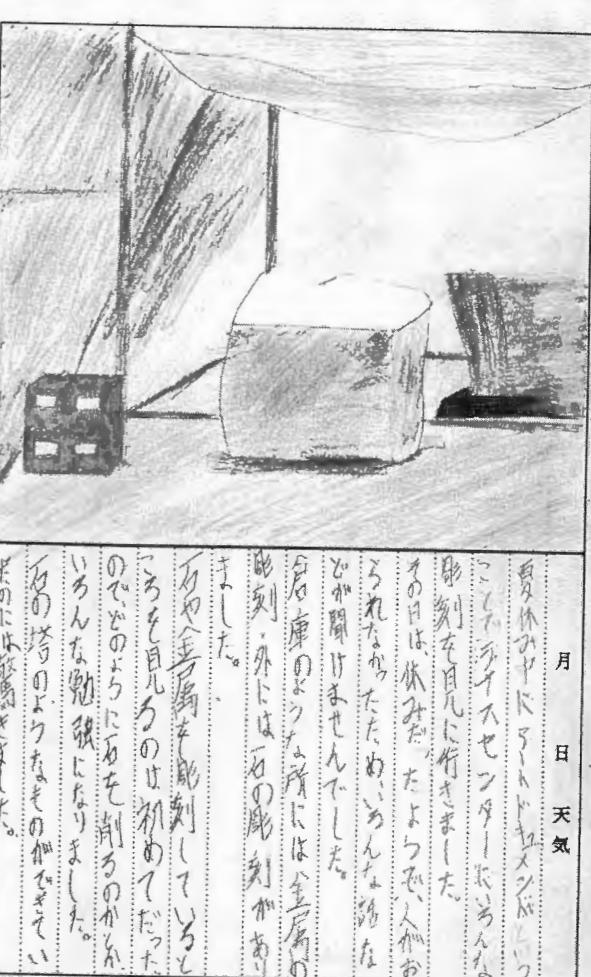
アートドキュメント日記



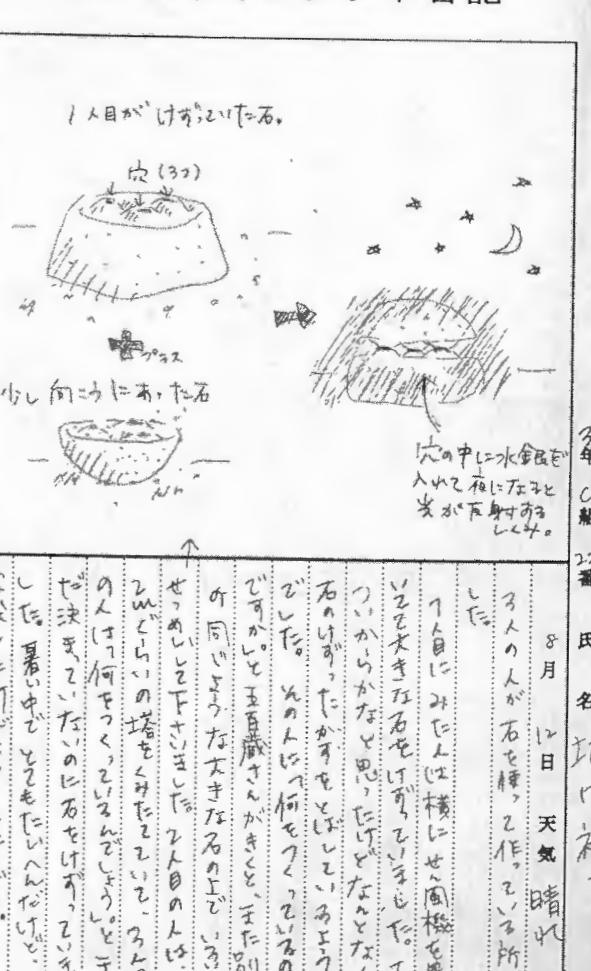
アートドキュメント日記

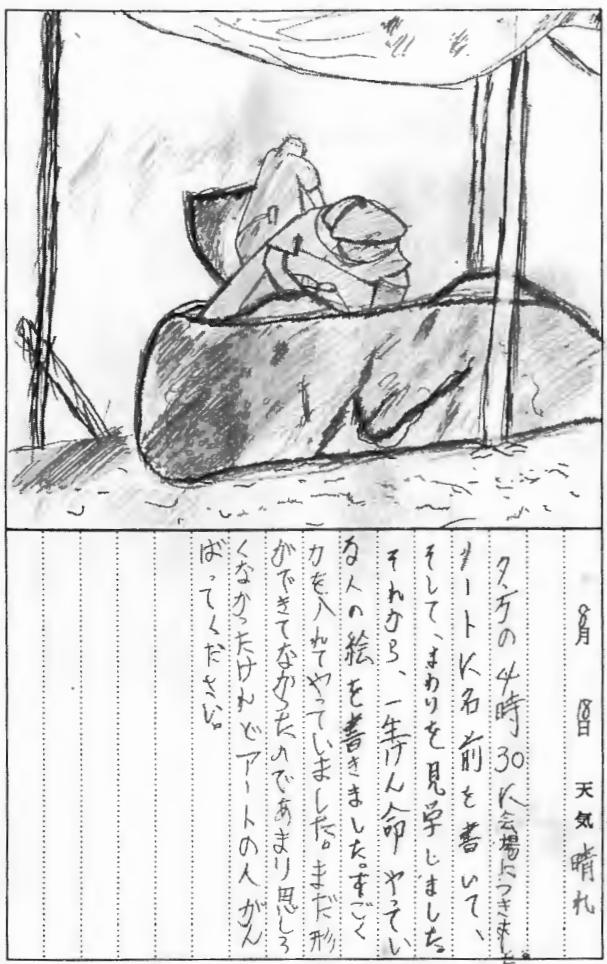


アートドキュメント日記

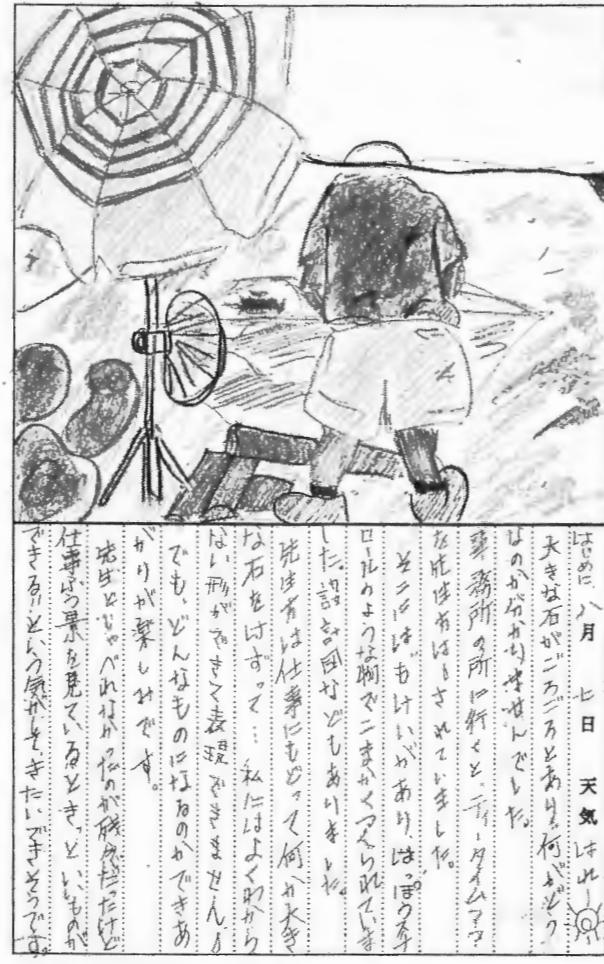


アートドキュメント日記





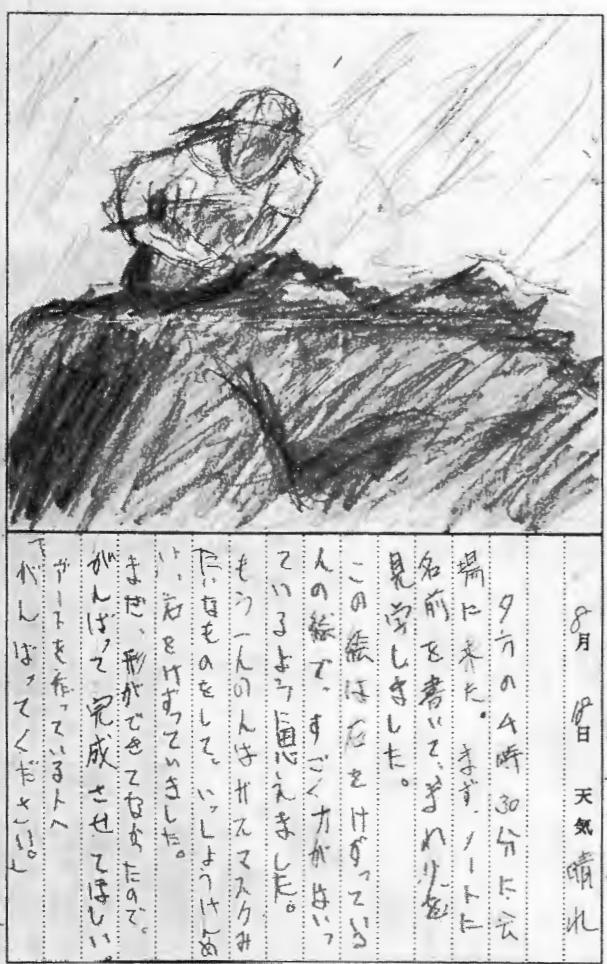
アーティストメソッド記田アントン



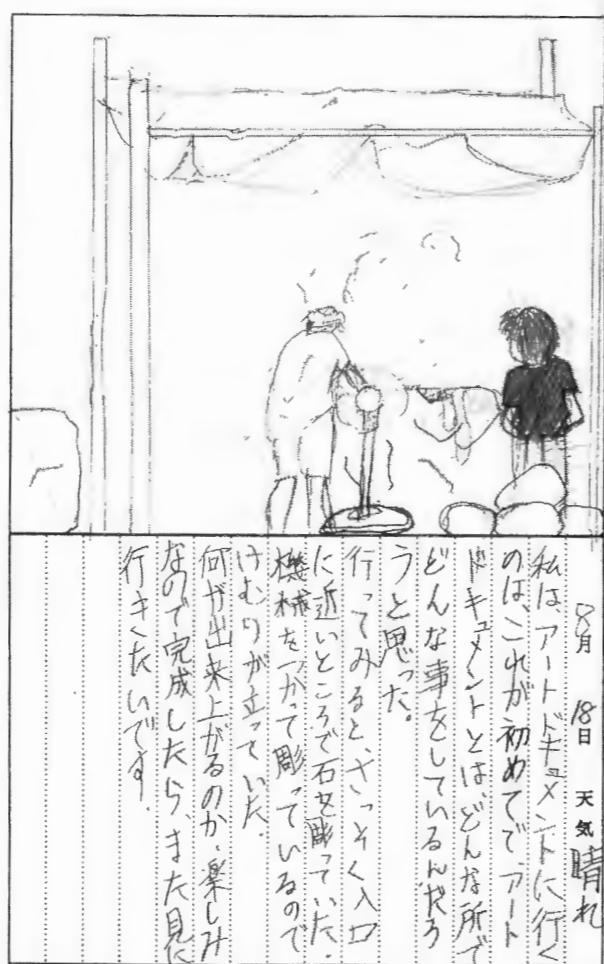
記日アーネスト・モーリー



第三十章 善巧法門上品



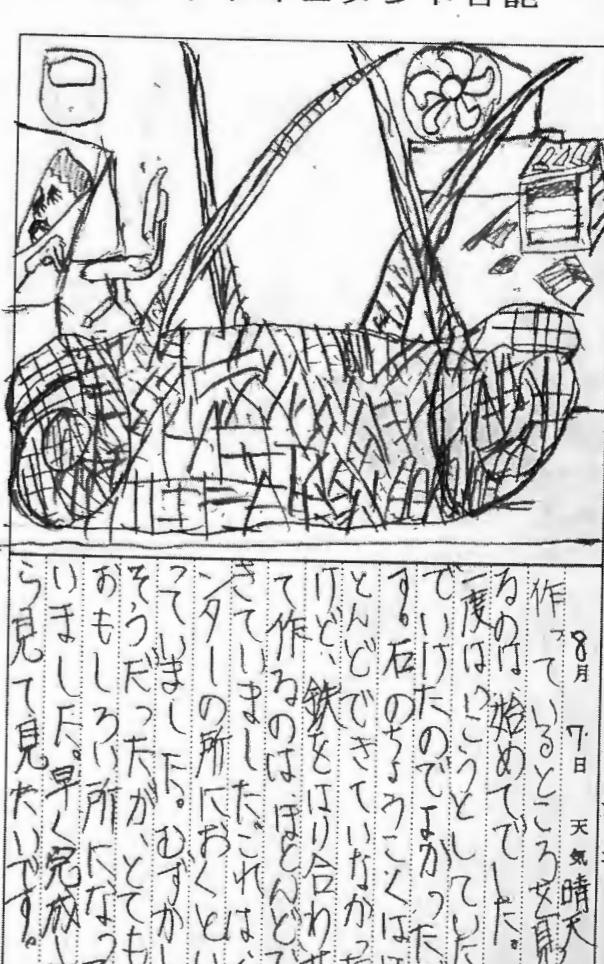
午時 30分上云
未ギノートヒ
シテ、手ハ少々
した。



8月 18日 天気晴れ
私はアートドキュメントに行
は、これが初めてでアート
ドキュメントとはどんな所
こんな事をしているんだろ
うと思つた。
みてみると、やつくり入口
へ近いところで石を磨いていた
様子をみて勝てているのでは
よりが立つていた。
が出来上がるのか、見じ
めて完成したら、また見
りきつています。



8月 4日 天気 雲り
今日アートギャラリーを見に行くと、五十歳の晴夫先生が彫刻をしておられた石をせずして形を整えて、もうXマークで固めていた。一つ一つの形が整ってござりいいだ、だ。また完成したとギーは、見に行きたい。他の彫刻家の人もきれいに作っていいだかんはうて作っていいアーティストをほしい。



8月 7日 天気 晴天
作って りとこみを見
るのは始めてでした。
一度はこうとしたが、
で、いたのでよかったです。
石のうち、よくはま
とんどできていがかった
丁度、鉄とヒリ合わせ
て作るのはほどんどで
きてしました。これは、イ
ターレの所でわくとヒリ
つてまし下。ひずかし
そうだつたが、とても
がもしろい所になつて
いました。早く完成した
う見て見て大いです。

ふれあいパーティー

作家支援

ふれあいパーティー

8月3日(木)・8月19日(土)

ふれあいパーティーは、特に期日を設げず実施しました。これは作家の皆様のリズムを大事にしたいとのことで、結果的には2回行いました。ライスセンターの壁一杯のフィルムコンサートとか、テーブルは電線のリール、椅子はビール、牛乳のプラスチックケースだとかいろいろ考えていただきました。

作家支援

期間中全日、町内のボランティアにより1日5名から6名のメンバーで事務所の掃除、お茶の準備等、作家の身の回りに対する支援をしていただきました。

午前9時から午後5時まで2交代制で、ほとんど麦茶作り。狭い部屋なのにクーラーもあまりきかず、汗だくの状態。それでもさすがに女性、途中から料理教室まで開かれ和気あいあいで終わることができました。

本当にごくろうさま。



東条アートドキュメント '95 作家支援

平成7年8月14日(水) 天候:○ 曜日:水曜
支援開始時間: [AM・PM] 時 分
終了時間: [AM・PM] 時 分

今日の午前 担当者 平尾洋子 藤本ひかる 吉田智子
午後 担当者 平尾洋子 藤本ひかる 吉田智子

【よかったです】
・お茶作りが楽しかった。
・お茶作りが楽しかった。
・お茶作りが楽しかった。
・お茶作りが楽しかった。
・お茶作りが楽しかった。
・お茶作りが楽しかった。

【気になったこと】
・前日の日誌は気づいた。
・前日の日誌は気づいた。

【今日の記録】
[Redacted]

平成7年8月15日(木) 天候:○ 曜日:木曜
支援開始時間: [AM・PM] 時 分
終了時間: [AM・PM] 時 分

今日の午前 担当者 平尾洋子 藤本ひかる 吉田智子
午後 担当者 平尾洋子 藤本ひかる 吉田智子

【よかったです】
・最初のうちは緊張したが、徐々に慣れてきた。
・最初のうちは緊張したが、徐々に慣れてきた。
・最初のうちは緊張したが、徐々に慣れてきた。
・最初のうちは緊張したが、徐々に慣れてきた。
・最初のうちは緊張したが、徐々に慣れてきた。

【気になったこと】
・前日の日誌は気づいた。
・前日の日誌は気づいた。

【今日の記録】
[Redacted]

平成7年8月16日(金) 天候:○ 曜日:金曜
支援開始時間: [AM・PM] 時 分
終了時間: [AM・PM] 時 分

今日の午前 担当者 平尾洋子 藤本ひかる 吉田智子
午後 担当者 平尾洋子 藤本ひかる 吉田智子

【よかったです】
・朝からずっとお茶作りをしていて、とても楽しかった。
・朝からずっとお茶作りをしていて、とても楽しかった。

【気になったこと】
・前日の日誌は気づいた。
・前日の日誌は気づいた。

【今日の記録】
[Redacted]

平成7年8月17日(土) 天候:○ 曜日:土曜
支援開始時間: [AM・PM] 時 分
終了時間: [AM・PM] 時 分

今日の午前 担当者 平尾洋子 藤本ひかる 吉田智子
午後 担当者 平尾洋子 藤本ひかる 吉田智子

【よかったです】
・朝からずっとお茶作りをしていて、とても楽しかった。
・朝からずっとお茶作りをしていて、とても楽しかった。

【気になったこと】
・前日の日誌は気づいた。
・前日の日誌は気づいた。

【今日の記録】
[Redacted]

平成7年8月18日(日) 天候:○ 曜日:日曜
支援開始時間: [AM・PM] 時 分
終了時間: [AM・PM] 時 分

今日の午前 担当者 平尾洋子 藤本ひかる 吉田智子
午後 担当者 平尾洋子 藤本ひかる 吉田智子

【よかったです】
・朝からずっとお茶作りをしていて、とても楽しかった。
・朝からずっとお茶作りをしていて、とても楽しかった。

【気になったこと】
・前日の日誌は気づいた。
・前日の日誌は気づいた。

【今日の記録】
[Redacted]

平成7年8月19日(月) 天候:○ 曜日:月曜
支援開始時間: [AM・PM] 時 分
終了時間: [AM・PM] 時 分

今日の午前 担当者 平尾洋子 藤本ひかる 吉田智子
午後 担当者 平尾洋子 藤本ひかる 吉田智子

【よかったです】
・朝からずっとお茶作りをしていて、とても楽しかった。
・朝からずっとお茶作りをしていて、とても楽しかった。

【気になったこと】
・前日の日誌は気づいた。
・前日の日誌は気づいた。

【今日の記録】
[Redacted]

エンディング

フォーラムと合同開催

9月2日(土)

プログラム

1部(フォーラム)

開会のあいさつ 小池副実行委員長

主催者あいさつ 高尾町長

来賓紹介

作家紹介

ソプラノ独唱 前川ひとみ

伴奏 丸山弘美

曲目

ふるさと(平井康三郎)

サルビア(中田喜直)

オペラ「ジャンニ・スキッキ」より

私のやさしいお父様

(ブッチーニ)

講演 鰐澤達夫

スライドとビデオを使った空間造形

2部(エンディング)

上中副実行委員長あいさつ

土肥議会議長あいさつ

天元太鼓による演奏

商工会青年部が期間中に制作した石臼によるもちつき

実行委員長より経過報告

担当委員より事業報告

「夢工房'95」のスタッフよりまちづくりの提案

愛唱歌「メモリーズ」の発表と合唱

フォーラムが雨にたたられ、エンディングと同時開催になってしまいました。ライスセンター内にある倉庫を急きよ会場として使用しました。急ごしらえの会場ではありましたが、前川ひとみさんのソプラノ独唱は普段聴いているホール以上の臨場感があり、演奏者と観客が一体となるというのはこの事なんだなと実感させられました。

鰐澤さんの講演もビデオとスライドを使っての提案で皆さん一所懸命聞いておられました。

第2部は、会場の前後で天元太鼓と石臼を使った餅つき大会の饗宴といった場面があり、続いて長期間様々な事業を企画遂行した各担当者の報告、夢工房よりまちづくりについての提案など、かかわったものすべてが熱く燃えたエンディングとなりました。





大杉実行委員長経過報告



上中副実行委員長挨拶



土肥議會議長挨拶



各担当者より報告



夢工房より報告提案



事業を振り返って

●目に見える成果

まちづくりの一つの手法として彫刻のある空間を創ることを提案し、その彫刻の制作にシンポジウム（公開制作）形式を採用しましたが、これが今回の事業の重要な部分でした。

コーディネイターをお願いした前川義春さんとは、実施にあたって様々な議論を積み重ねました。まちの各所に置かれることになる彫刻が、石で造られたものばかりではおもしろくないから違う素材も取り入れようと、金属素材の作家でもある伊東敏光さんに参加していただいたこと。設置場所について、4ヶ所の場所はあらかじめ決めていましたが、どの作家がどの場所というのは、作家自身が事前に現地を見て検討し、場所が確定した上で作品の構想を練っていただいたことです。

また今回のアートドキュメント'95の特徴であり大きな成果だったのは、造形作家の鰐澤達夫さんに参加していただいたことです。

事業開始前に東条に来ていただきて、空間造形の分野から見たまちづくりにおいてリクチャーをいただいたり、事業開催中は、まちのポイントとなる場所のイメージを模型をつくって提案していただきました。提案の一つは、前川義春さんの作品を設置していく庭として実現しています。

●目に見えない成果

今回の事業を進めていく上で、町制40周年のテーマである「街づくり・人づくり・夢づくり」ということを考える必要がありました。

彫刻の公開制作という事業を通して、東条の人たちにどのようにかかわっていただけるか。従来の団体の枠を越えて、人の心と心のネットワークで事業を進められないか。こんな事を自ら問いかけ、提案し、輪を広げながら事業を進めてきました。

大きな目的に向かって走っているとき、時には道を少しはずれて散歩してみると、今まで走ってきた道や目的が、角度と距離をもって見ることができます。今回の事業を展開していく過程でできた「夢工房」も、成果を問わず長いスパンで物事を考えようという理念をもってスタートしました。一つの考えに固執せず、問題を様々な角度から検討しようとすることが大切ではないか。今回の事業で得た成果の一つです。

「東条遊ネット」という構想をもってこの事業を企画しましたが、結果としてこのような素晴らしい展開になると、私も含め誰一人予想し得なかつたのではないかと思います。

物事を企画して創り上げていく過程の素晴らしさ、成果品として残るものはありませんが、心の中に決して壊れることのない結晶として存在し続けていくと信じています。

町当局、JA加東郡、会場となったライスセンター周辺の皆様、そしてこの事業にかかわっていただいたすべての皆様に厚くお礼を申し上げ、結びといたします。

皆様ありがとうございました。

東条アートドキュメント'95実行委員会委員長 大杉 隆



Tojo Art document '95

発行 東条町 平成8年
編集 東条アートドキュメント'95実行委員会
制作 (有)大杉写真館
印刷 ダイコロ株式会社

愛唱歌「メモリーズ」

[Syn.Str.1]

(11)

[Voice 1]

(11)

[Syn.Str.1]

(5)

[Voice 1]

(5)

[Syn.Str.1]

(9)

[Voice 1]

(9)

[Syn.Str.1]

(13)

[Voice 1]

(13)

[Syn.Str.1]

(17)

[Voice 1]

(17)

[Syn.Str.1]

(21)

[Voice 1]

(21)

東条アートドキュメント'95 イメージソング
『Memories』

I never I can't forget beautiful memories
I never I can't forget beautiful memories
ラララ 梦を語ろう 君とこの街にいれば
風のかおり感じて やさしい気持ちになる...
I never I can't forget beautiful memories
I never I can't forget beautiful memories
あなたと出会った街 あなたとすごした時間(とき)
美しい想い出は 決して忘れはしない...
I never I can't forget beautiful memories
I never I can't forget beautiful memories
ラララ 愛を歌おう 君とこの街にいれば
風のかおり感じて やさしい気持ちになる...
I never I can't forget beautiful memories
I never I can't forget beautiful memories
あなたと出会った街 あなたとすごした時間(とき)
美しい想い出は 決して忘れはしない...
I never I can't forget beautiful memories
I never I can't forget beautiful memories